

学術利用向けクラウドストレージ共同調達 FAQ

■ サービス概要・仕様について

Q. どのストレージサービスを利用できますか？

A. Wasabi (Hot) および Wasabi (Cold) をご利用いただけます。なお、AWS Glacier につきましては当初からの参加機関のみ選択可能であったため、現在は新規のご選択はいただけません。

■ 契約・単価について

Q. 契約期間の途中から参加（中途参加）することはできますか？ また、その際の適用単価はどうなりますか？

A. 中途参加可能です。途中参加の場合であっても、ミニマムコミット（最低利用量）を設定いただくことで、より安価な「最小利用量あり」の単価を適用してご契約いただけます。

■ 利用用途・技術要件について

Q. 研究データ管理以外の用途（機関リポジトリや図書館システム等）でも利用できますか？

A. ご利用いただけます。本共同調達は教育・研究・業務等の発展を図ることを目的としているため、用途は研究データ管理に限定されません。システム連携については、対象ソフトウェアが S3 互換（AWS S3 での動作実績等があるシステム）に対応していれば、基本的に利用可能です。

■ 学内運用・利用量管理について

Q. 部局やプロジェクトごとに利用量・費用を把握し、学内で請求管理することはできますか？

A. 可能です。部局やユーザーごとにバケットを作成し、バケット単位で利用容量を管理・分離する運用がスムーズです。事業者からは機関全体の利用容量および利用料金データ（月次または四半期ごと）が提供されますので、各部局への費用割り振りは、各バケットの利用実績容量を基に学内にて算出・管理ください。

■ 契約終了後のデータ移行・継続利用について

Q. 利用期間の終了後、保存されているデータやアカウントはどうなりますか？

A. 共同調達の継続有無や各機関のご希望に応じて、以下のとおり対応となります。

■ 共同調達が継続される場合

- ・別事業者が選定された場合

移行対応・費用を含めて次期調達仕様に組み込む想定のため、各機関で個別の移行費用負担なく新環境へ移行します。

- ・同一事業者が選定された場合

データの移行作業なしで、そのまま継続利用が可能です。

■ 共同調達が終了、または機関独自で継続する場合

- ・直接継続契約

各機関の費用負担にて、代表アカウントおよび関連リソースを維持したまま事業者との個別継続契約へ移行できます。

- ・他環境への移行

各機関の費用負担にて、別途手配したストレージ等へデータを移行して利用終了となります。

Q. 共同調達契約終了後もサービスを継続利用できますか？

A. はい。共同調達契約期間終了後も継続利用できることを前提としております。

共同調達の継続有無は令和 10 年度の評価結果を踏まえて決定される予定ですが、継続する場合は、同一アカウントの継続利用などサービス継続性を考慮した調達を行う予定です。また、共同調達が終了した場合でも、各機関の費用負担によりアカウントや保存データを引き継いで継続利用することが可能です。